

高島平ゆめのまち 産学連携プロジェクト

日程

2025.

3.19

水

14:00～15:30

会場 大東文化大学 多目的ホール (東京板橋キャンパス)
東京都板橋区高島平1丁目9-1

プロジェクト 概要

本プロジェクトは、大東文化大学 社会学部社会学科飯塚研究室と、トヨタモビリティ東京UR都市機構が協力し、「高島平に夢のある未来を思い描く」産学連携プロジェクトです。学生と企業が参加するワークショップでは、高島平団地内に点在する低未利用地について将来の活用策を検討し、その将来像を模型やAR技術により表すことに挑戦しています。

参画 団体

大東文化大学 社会学部社会学科 飯塚研究室

トヨタモビリティ東京株式会社

UR都市機構

模型・AR制作

株式会社ベナ

司会・進行

株式会社URリンケージ

発表会 次第

1. 開会
2. プロジェクトについて
3. 学生発表
4. 感想
5. 講評
6. 閉会

大東文化大学 社会学部社会学科 飯塚研究室
飯塚准教授・プロジェクト参加メンバー



プロジェクトコンセプト

— すべての人に寄り添って — みんなだいすき 高島平ゆめのまち



コンセプトの桜の花びらには、

困った時に
頼れる

生活の
快適さ

高島平で
自然を
楽しむ

若者と
の交流

大東文化大学
から
広がる学び

という意味が込められています。

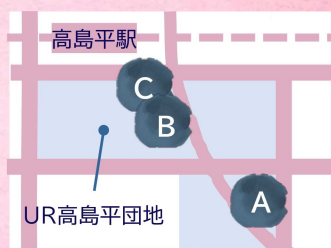
ワークショップ検討内容

高島平団地は、建設後相当年数が経過しており、社会情勢の変化、住まい方の変化、周辺市街地の環境、住民の高齢化が社会的背景として挙げられます。また、地域から求められる施設機能や、屋外空間の活用方法・コミュニティのあり方に変化が生じています。

団地内の3地点をどのように活用すれば
コンセプトに掲げるまちを実現できるか？

団地内には、利用率が低い自走式駐車場や、過去にプールとして利用されていた場所など、低未利用地が複数個所あります。このような敷地を有効活用し、活力あるまちづくりの推進・地域価値向上が求められています。

ワークショップ 対象地点



A地点



- ・団地の端部、南東に位置。
- ・道路・桜並木に面している。
- ・大東文化大学からは近い。

B地点



- ・団地住棟に囲まれた立地。
- ・近くに保育園がある。

C地点



- ・高島平駅に近い。
- ・通勤・通学時に立ち寄りやすい位置。

ワークショップのあゆみ

第1回

背景・課題の把握

参画団体より会社紹介や、高島平団地の概要・対象地点の概要説明が行われました。

第2回

現地見学

対象地点とともに、高島平団地を実際に見学しました。

第3回

ニーズの確認

高島平団地に関連する人物になりきり、各々の「あったらいいな/あったら嫌だな」を議論しました。

コンセプト
ロードマップ発表



第4回

機能の割り振り

3つの地点に適切な役割を設定し、どのような機能が必要か、またその組合せを検討しました。

ニーズの整理
各地点の特徴発表

第5回

利用シーンの想定

ペルソナごとに利用シーンを想定し、ARで表現するポップアップに効果的な要素を検討しました。

各地点コンセプト
空間イメージ発表

第6回

AR表現の検討

模型とARの試作品を用い、表現したい要素、空間イメージのすり合わせを行いました。

建物イメージ
ポップアップ発表

